

6. 学術情報センター

学術情報センター長 福田 国彦 (放射線医学講座) (平成25年4月から)
同 図書館国領分館長 横井 勝弥 (数学研究室) (平成25年4月から)

1) 平成26年度統計 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(1) 図書館

① 蔵書冊数	261,674冊	
② 現在受入雑誌数	863種	(和722種、洋141種)
③ 電子ジャーナル提供数	7,393種	
④ 館外貸出冊数	10,222冊	
⑤ 他学との文献相互貸借数	貸出 2,632件	借受 2,092件
⑥ 複写サービス	90,939枚	(代行複写、相互貸借 (他館への提供)、附属病院へのFAX送信、セルフコピーの合計)
⑦ 情報検索サービス	84,559件	(代行とセルフサービスの合計)

(2) 国領分館

① 蔵書冊数	87,510冊	
② 現在受入雑誌数	356種	(和306種、洋50種)
③ 館外貸出冊数	8,551冊	(視聴覚資料含む)

(3) 標本館

① 標本数	マクロ標本	1,615点
	顕微鏡標本	2,549点
② 視聴覚資料	ビデオ・プログラム	1,885セット
	スライド・プログラム	601セット
	16mmフィルム	37セット
	コンピュータ・ソフトウェア	69セット
	語学プログラム	206セット
	その他	79セット

(4) 史料室

見学者数 203名 (学内18名、学外185名)

(5) 写真室

① 撮影・スライド作成	60件	(1,449枚)
② レントゲンフィルム複製	38件	(834枚)
③ ビデオ編集	50件	(134時間)
④ カラープリント出力 (ポスター作成含む)	568件	(11,754枚)
⑤ 35mmスライドのデジタル化	18件	(2,067枚)

2) 主な事項

(1) 医学部学生および大学院生の演習の担当

医学科1年生・2年生の「医学総論」、医学科3年生・4年生の「医療情報:EBMコース」、看護学科1年生の「総合演習」、看護学科3年生の「研究方法論:文献検索実習」での情報検索演習、看護学科1年生の図書館オリエンテーション、大学院医学研究科看護学専攻修士課程1年生への演習を担当した。

(2) 教職員等を対象とした情報検索演習

教育センターによる附属4病院の在職看護師を対象とした「エデュケーションナース研修」(9月8日)、東京慈恵会による学内外の看護教育関係者を対象とした「教務主任養成講習会」

- (6月18日・12月6日)で情報検索演習を担当した。また、教職員を対象としたデータベース講習会を3回実施し、延べ22名の参加があった。
- (3) 看護系教職員を対象とした情報検索講習
第三地区看護研究共同プロジェクト(担当:看護学科 高島尚美教授)から依頼を受け、「看護研究基礎セミナー 第2回:文献の読み方・検索」(6月27日)を担当し、30名の参加があった。また、国領分館主催で看護系文献データベースCINAHLのセミナー(12月24日)を開催し、24名の参加があった。
- (4) ネットワークを介した情報提供
電子ジャーナルと医学関連データベースをネットワーク経由で利用できる環境を維持した。データベースに新規データが追加された際に電子メールにて通知するサービス(AutoAlertサービス)を、引き続き実施している。また、新聞4紙から医療および大学関係の記事の見出しを学内に電子メールで配信するサービス(平成16年12月開始)も継続した。
- (5) 学術リポジトリの構築
学内の学術成果物を電子的に蓄積し、インターネット上に公開するためのシステムである学術リポジトリの運用を担当している。『東京慈恵会医科大学雑誌』、『Jikeikai Medical Journal』、『教育・研究年報』、『Research Activities』の最新の内容を登録し、インターネット経由で参照できるようにした。また、「学位規則の一部を改正する省令(平成25年文部科学省令第5号)」を受け、学事課との協力により学位論文要旨の学術リポジトリによるインターネット公開を平成25年度から実施している。
平成26年度の学術リポジトリへの登録件数は227件で、利用状況は閲覧417,898件、ダウンロード611,120件であった。
- (6) 『東京慈恵会医科大学教育・研究年報2013(第33号)』および『Research Activities 2013』の編集
両年報の編集作業を担当した(両年報とも3月1日発行)。
- (7) 教員評価システム管理委員会に関する取り組み
教員評価システムの業績データ入力機能に関する問合せ窓口を担当し、学内教職員を対象とした入力方法の説明会を2回実施した(7月10日・7月18日)。
- (8) 医学論文書きかた講習会の開催
Jikeikai Medical Journal編集委員会と東京慈恵会医科大学雑誌編集委員会の共催による以下の講習会の開催を担当した。これらの講習会は大学院共通カリキュラムの必須科目「医学研究概論」の授業を兼ねている。
・「英語が苦手な人のための英語論文の書き方」(5月22日)(参加59名)
近藤一博教授(ウイルス学講座)
・「英文論文の勧め」(5月27日)(参加76名)
矢永勝彦教授(外科学講座)
・「Annoyingly Common Writing Errors」(5月29日)(参加55名)
岡崎真雄教授(学術情報センター)
・「Building confidence for public speaking」(6月3日)(参加50名)
小原平教授、Mark Alder講師(英語研究室)
(開催時間は、いずれも18時～19時30分)
- (9) 編集業務における剽窃チェックへの対応
Jikeikai Medical Journal・東京慈恵会医科大学雑誌合同編集委員会にて剽窃チェックへの対応について審議し、編集業務でコピー・アンド・ペースト判定ソフトウェアの使用を開始した。
- (10) 総合展示の開催
以下4テーマの展示の提供をいただき、1月6日(月)～2月6日(金)に大学1号館ロビー、高木会館ロビーにて開催した。

- ・「ここ10数年の放射線治療の進歩～頭頸部癌を中心に～」
兼平千裕教授（放射線医学講座）
 - ・「肝細胞障害機序を求めて That's the way I have been keeping」
銭谷幹男教授（総合健診・予防医学センター）
 - ・「絨毛性疾患診断での刷り込み遺伝子産物 TSSC 3 免疫染色の有用性について」
福永眞治教授（病理学講座）
 - ・「肺癌健診と見逃しやすい肺癌」
関谷透教授（放射線医学講座）
- (11) 教材・研究資料の作成支援
学内教職員・学生、同窓生を対象に、静止画・動画の撮影、画像データのデジタル編集、ポスター作成、ビデオ編集、35mmスライドのデジタル化の各サービスを実施した。
 - (12) レントゲンフィルムの複製
教育・研究用、病院保管用の資料作成、他病院・関連機関への情報提供のためのレントゲンフィルム複製の業務を担当した。
 - (13) 広報活動支援業務
学内行事および広報用の写真撮影、また画像データの保管・提供を担当した。
 - (14) リモートアクセスサービスの開始
大学ネットワーク上で利用可能となっている電子ジャーナルおよびデータベースを学外（自宅や派遣先）からアクセスするためのサービスである「リモートアクセスサービス」（平成21年度開始）の利用者登録とサポート作業を行った。平成26年度の新規登録者は292名で、平成26年度末までに利用登録者は1,883名となった。
 - (15) 「東京慈恵会医科大学130年史（平成23年度発行）」関連の業務
掲載内容に関する問い合わせへの対応、130年記念事業寄付者へ送付確認作業を担当した。
 - (16) 西新橋再整備計画「図書・講堂スモールワーキンググループ（SWG）」への参加
図書・講堂SWGに参加し、図書館移転計画の作成に着手した（再整備統括会議にて図書館は大学管理棟に移転することとなった）。